

令和4年度 市場ニーズに応える6次産業化の実証

➤ 事業趣旨

6次産業化拠点整備事業の一環として、出口戦略を持つ企業や大学等と連携し、市場ニーズのある農産物の栽培を行うとともに、農産物の増収・品質向上につながる土壌改良等を実証し、情報発信を行う。

1. 出口戦略を持つ企業等との連携推進

(1) 加工用トマトの実証栽培（市内6生産者）

- 加工用トマトの産地化に向けた実証栽培（2年目）
 - ・企業との連携、市内農家の協力を得て面積拡大（250a）
 - ・産地化につながる成功事例の作出
 - ・機械化一貫体系（省力化）の実証

(2) 体験型農業の実証（市内施設園芸農家）

- 企業と連携した収穫体験事業の実施
 - ・収益性の高い事業形態の提案
 - ・体験事業（3次産業）等を通じた6次産業化

2. 水田における生産性の向上

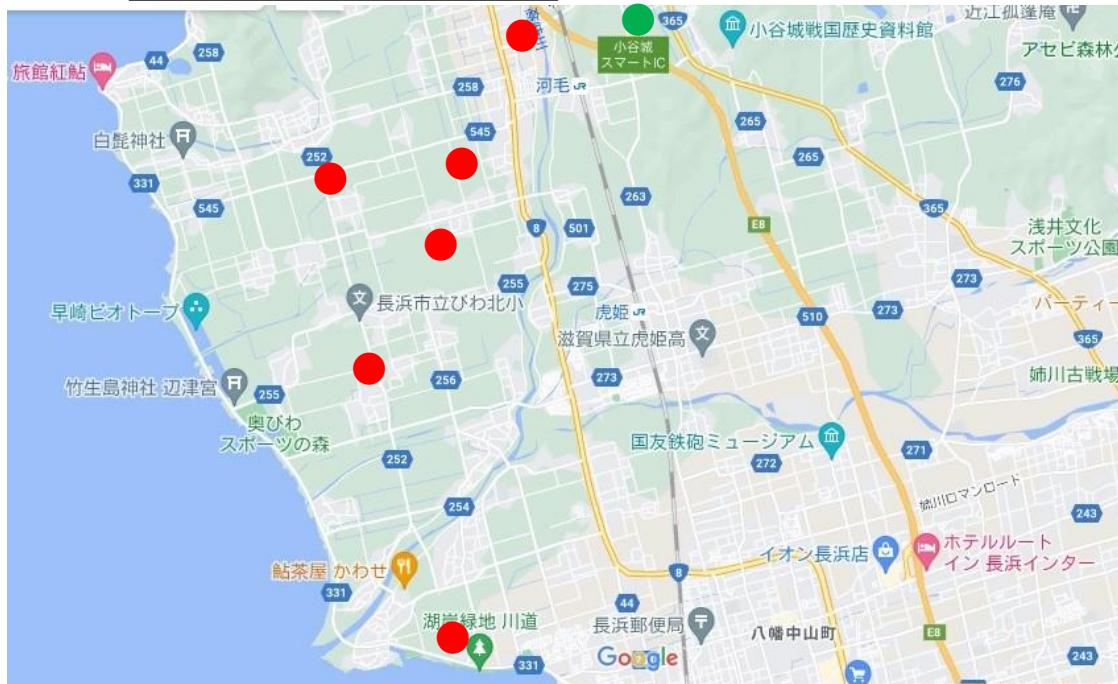
- 堆肥投入による土壌改良効果の実証（小谷美濃山町）
 - ・「ふりかけ堆肥eco」の投入による、麦・大豆の増収効果を実証

3. スマート農業の調査・研究

- 調査研究・現場実演会の開催（市内圃場等）
 - ・本市農業の実態把握等スマート農業の実装普及に向けた調査研究
 - ・JA全農しが、JA北びわこ、JAレーク伊吹と連携し、ロボット田植機実演会を開催（第1回5/17）

- 加工用トマト（4～7月）
 - ・湖北町山本
 - ・湖北町八日市（2圃場）
 - ・湖北町速水
 - ・湖北町小倉
 - ・上八木町
 - ・川道町

- 堆肥の施用→麦・大豆（R3. 10月～R4. 10月）
 - ・小谷美濃山町



小谷城スマートIC栽培実験農場における実証事業

長浜伝統野菜の高付加価値化
尾上菜F1品種※の交配・採種
(R3. 10月～R4. 6月)

※F1品種…遺伝的に異なる系統の親を交配して得られる作物の品種で、大きさや生育速度などで、両親をしのぐ。

根こぶ病対策の実証
エン麦「ヘイオーツ」
(4～7月)
→加工用キャベツ
(8～11月)

機械化による省力化
サトイモ「土垂」
(4～10月)

国産パプリカの需要に応える
ミニパプリカ「ぱぷ丸」
(4～11月)

端境期栽培
ミニトマト「サンチェリー
ピュアプラス」(4～7月)
→キュウリ「ニーナZ」
(8～11月)

湖国農産事業
メロン「アールスマラノ」
(4～7月)
→ミニトマト「リトルジェ
ムプレミアム」(8～12月)

地域ブランド再興
小玉スイカ「ピノ
ガール」(5～8月)

4. 市場ニーズのある農作物の実証栽培

(1) 水田転作作物の実証栽培 (B・D圃場)

- ①水田転作に適した「サトイモ」を栽培
 - ・圃場準備から定植、収穫、出荷調整を機械化し省力化を実証
- ②地域ブランド再興をめざし小玉スイカ「ピノ・ガール」を栽培
 - ・糖度が高く、食べてしまえるほど種が小さい新品種
 - ・市場ニーズに応じた食べきりサイズ
 - ・生産者の収穫時の負担軽減につながる品種選定

(2) 園芸作物の栽培 (Cビニールハウス)

- ①国産パプリカの需要に応え、ミニパプリカ「ぱぷ丸」を栽培
 - ・糖度が高く、調理しやすい使いきりサイズ
 - ・熟期が短く、初心者でも栽培しやすい
- ②通年需要のあるミニトマト、キュウリを高単価の端境期に栽培
 - ・栽培早期から高収量を確保できるミニトマトの早生品種「サンチェリーピュアプラス」を選定
 - ・うどん粉病、褐斑病、べと病に強いキュウリの品種「ニーナZ」を選定

(3) 長浜バイオ大学連携事業 (Eビニールハウス)

- 長浜伝統野菜「尾上菜」の交配・採種
 - ・「尾上菜」の生産拡大に向け、従来品種よりも高収量が得られるF1品種の種子を尾上地区等へ提供

5. 水田における生産性の向上 (実験農場内)

- 緑肥等の施用による土壌改良効果の実証 (A圃場)
 - ・殺菌剤「オラクル」と「エン麦」の併用による根こぶ病対策効果の実証
 - ・「エン麦」の施用による土づくり効果の実証

